

第56回県下中学生春季選抜野球大会要項

- 1 主 催 (公財) 全日本軟式野球連盟 鹿児島県支部
 2 主 管 鹿児島県軟式野球連盟少年部 (鹿児島県中学校軟式野球専門部)
 3 後 援 鹿児島県中学校体育連盟
 4 期 日 令和8年4月18日(土)、19日(日)、20日(月)
 ※開会式は実施しない。
 5 会 場 始良市総合運動公園野球場、阿久根市総合運動公園野球場
 6 大会規則 令和8年公認野球規則、競技者必携及び本大会規則による。
 7 大会使用球 (公財) 全日本軟式野球連盟公認M号球とする。
 8 参加チーム 10地区代表・16チーム

No	地区名	市 郡 名	出場枠
1	鹿児島地区	鹿児島市	3
2	南薩地区	南九州市・枕崎市・南さつま市 指宿市	2
3	日置地区	日置市・いちき串木野市	1
4	川薩地区	薩摩川内市・さつま町	1
5	出水地区	出水市郡・阿久根市	1
6	始良・伊佐地区	霧島市・始良市郡・伊佐市	2
7	曾於地区	曾於市郡・志布志市	1
8	肝属地区	垂水市・鹿屋市・肝属郡	2
9	熊毛地区	西之表市・熊毛郡	1
10	大島地区	北部(大島本島・喜界)	1
		南部(徳之島・沖永良部・与論)	1

- 9 参加資格 ①令和8年度の県連登録チームで、各地区予選会で出場資格を得たチーム
 ②ベンチに入れる人員は、登録されたユニフォームを着用した監督30番
 コーチ29番・28番および選手25名以内と、チーム代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー(有資格者)各1名とする。
 ただし、監督、コーチは成人者でなければならない。

- 10 参加申込 期日までに登録支部を経由し、県軟式野球連盟あて E-mailにて提出。
 鹿児島県軟式野球連盟 理事長 加世田 貢 宛
 E-mail : info@kagoshima-rubberbaseball.club TEL099-800-9264
 申込期日 令和8年4月4日(土)

- 11 参加料 20,000円(参加申込と同時に下記、県軟式野球連盟口座に振込み)
 (指定口座)

鹿児島銀行 伊敷ニュータウン出張所 普通預金 3026530
 鹿児島県軟式野球連盟 理事長 加世田 貢

- 12 組合抽選 県連役員立会いの上、代理抽選を行う。 令和8年4月6日(月)
 13 代表者会 令和8年4月17日(金)午後2時から鹿児島市立天保山中学校

14 その他

- (1) 第2試合以降のチームは、前の試合の4回終了時までには打順表を提出し攻守の決定を行うので、監督・主将は、必ず出席すること。(ふりがな付メンバー表を5部持参する。)
 (2) 試合前のシートノックは5分間とし、大会運営に支障がある場合は短縮、中止することもある。ノッカーは、生徒と同じユニフォーム・スパイクを着用する。シートノック・サイドノックの時は登録選手以外の補助員4名まで認める。(1回戦はサイドノックとする。)
 (3) 試合は7回戦とし、コールドゲームは4回10点差、5回以降7点差とする。延長戦はタイブレーク方式(無死一・二塁継続打順)とし、9回までに勝敗が決しない場合は、最終選手9名全員による抽選によって決定する。ただし優勝戦はコールドを適用せず、延長戦に入った

場合は、タイブレーク方式で勝敗が決するまで行う。

- (4) 使用する用具は、(公財)全日本軟式野球連盟公認のものを使用する。試合前に用具検査、マナーチェックを実施する。
- (5) 打者・次打者・走者・ランナーコーチは両耳ヘルメットを使用する。捕手は捕手用のヘルメットとマスク・プロテクター・レガース・ファールカップを着用する。
- (6) リストバンド、マスコットバット、バットリング、鉄棒、滑り止めスプレー、公認球以外のボール等、試合で使用しないものの球場内への持ち込みは禁止する。
- (7) 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮して、1日100球までとする。なお、試合中に100球に到達した場合は、その打者が打撃を完了するか攻守交代まで投球できる。
- (8) タイムの回数は守備側、攻撃側とも3回以内とし、また、監督が1試合に投手の所へ行く回数も3回以内とする。なお、延長戦(タイブレーク方式)は1イニングに1回行くことができる。※タイムの規定については、2026年競技者必携を適用する。
- (9) 規則上の疑義については、監督または当該プレーヤーに限り質問することができる。
- (10) 同一チームが続けて試合を行う場合は、最高30分間の休憩後に試合を行う。(大会運営に支障がある場合は短縮もある。最終判断は大会本部が行う。)
- (11) 出場チームの選手の背番号は、監督は30番、コーチは28番、29番、主将は10番とする。
- (12) 試合終了後両チームはグラウンド整備を、また最終試合後は、勝ちチームは自軍のベンチの清掃とグラウンド整備を、負けチームは自軍のベンチとスタンドの清掃を行う。
- (13) 試合中の負傷については、各学校で善処する。
- (14) 自然災害等で交通途絶状態が生じて大会に出場できない時は、そのチームは辞退したものと取り扱う。
- (15) 参加チームは、スポーツ安全協会障害保険に必ず加入しておくこと。
- (16) 本大会は県教育委員会が認可した対外運動競技基準による学校教育活動外で学校名を使用して参加できる大会です。
- (17) 感染症予防対策(健康管理等)はチームで実施すること。

鹿児島信用金庫旗争奪

第43回全日本少年軟式野球大会県予選《実施要項》

- 1 主催 (公財) 全日本軟式野球連盟 鹿児島県支部
2 主管 鹿児島県軟式野球連盟薩摩川内支部
3 特別協賛 鹿児島信用金庫
4 会期 令和8年5月16日(土)、17日(日)
5 会場 薩摩川内市総合運動公園野球場ほか
6 参加チーム 11地区代表16チーム

鹿児島市郡	2	川薩地区	2	曾於地区	1	大島地区	1
南薩地区	2	北薩地区	1	肝属地区	2	徳之島地区	1
日置地区	1	伊佐・始良地区	2	熊毛地区	1		

- 7 参加資格 ① 令和8年度の県連登録チームで、各地区予選会を勝ち抜き、各支部長の推薦を受けたチームであること。
② ベンチに入れる人員は、登録されたユニフォームを着用した監督30番、コーチ29番・28番および選手25名以内と、チーム代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー(有資格者)各1名とする。ただし、監督、コーチは成人者でなければならない。
- 8 参加申込 期日までに登録支部を経由し、県軟式野球連盟あてE-mailにて提出。
鹿児島県軟式野球連盟 理事長 加世田 貢 宛
E-mail : info@kagoshima-rubberbaseball.club TEL099-800-9264
申込期日 令和8年4月30日(木)
- 9 参加料 20,000円(参加申込と同時に下記、県軟式野球連盟口座に振込み)
(指定口座)

鹿児島銀行 伊敷ニュータウン出張所 普通預金 3026530 鹿児島県軟式野球連盟 理事長 加世田 貢
--

- 10 組合抽選 県連役員立会いの上、代理抽選を行う。 令和8年5月7日(木)
11 開会式 実施しない。
12 九州大会 大分県 令和8年7月4日(土)、5日(日)
13 全国大会 神奈川県 令和8年8月9日(日)～14日(金)
14 その他

- ① 出場選手は、スポーツ障害保険に必ず加入し、試合当日は全員健康保険証等を持参すること。
② 出場チームは会場に到着次第、大会本部で参加手続きを行うこと。
③ 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮して、1日100球までとする。なお、試合中に100球に到達した場合は、その打者が打撃を完了するか攻守交代まで投球できる。
④ 試合は、7回戦とし、4回10点差、5回以降7点差でコールドゲームを適用する。7回終了同点の場合、8回よりタイブレーク方式(無死1・2塁継続打順)で試合を決する。
⑤ 捕手は、プロテクター・レガーズ・ヘルメット・スロートガード付きマスク・ファールカップ(ブルペン捕手を含む)を必ず着用すること。
⑥ タイムの回数は守備側、攻撃側とも3回以内とし、また、監督が1試合に投手の所へ行く回数も3回以内とする。なお、延長戦(タイブレーク方式)は1イニングに1回行くことができる。
※ タイムの規定については、2026年競技者必携を適用する。
⑦ 主催者は、試合中に受けた傷害に対しては一切責任を負わない。
⑧ 感染症予防対策(健康管理等)はチームで実施すること

第17回全日本少年春季軟式野球大会鹿児島県予選大会《実施要項》

- 1 主 催 (公財) 全日本軟式野球連盟 鹿児島県支部
2 主 管 鹿児島県軟式野球連盟
3 会 期 令和8年10月17日(土)、18日(日)
4 会 場 日置市伊集院球場ほか
5 参加資格 ①令和8年度の県連登録チームで、地区・支部を代表して出場するチームは県連各末端支部長の推薦を受けたチームであること。

鹿児島市・郡	1	日置地区	1	肝属地区	1	屋久島支部	1
南薩地区	1	出水地区	1	曾於地区	1	大島地区	1
川薩地区	1	始良・伊佐地区	1	種子島支部	1	徳之島支部	1

- ②チームは、中学1,2年生とし、ベンチに入れる人員は、登録されたユニフォームを着用した監督30番、コーチ29番・28番および選手25名以内と、チーム代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー(有資格者)各1名とする。ただし、監督、コーチは成人者でなければならない。
6 参加申込 期日までに支部メールアドレスから、下記 E-mail アドレスに送信のこと。
鹿児島県軟式野球連盟 理事長 加世田 貢
E-mail : info@kagoshima-rubberbaseball.club
TEL 099-800-9264
申込期日 令和8年10月2日(金)

- 7 参加料 20,000円(参加申込と同時に下記、県軟式野球連盟口座に振込み)
(指定口座)

鹿児島銀行 伊敷ニュータウン出張所 普通預金 3026530 鹿児島県軟式野球連盟 理事長 加世田 貢
--

- 8 組合抽選 県連役員立会いの上、代理抽選を行う。 令和8年10月7日(水)
9 開始式 実施しない。

本大会の優勝チームは翌年春の第17回全国大会、準優勝チームは本年秋の第8回九州少年軟式野球大会の出場権を獲得する。

- 10 九州大会 令和8年11月 7日(土)～ 8日(日) 大分県
11 全国大会 令和9年 3月20日(土)～25日(木) 岡山県
12 その他
① 出場選手は、スポーツ障害保険に必ず加入し、試合当日は全員健康保険証等を持参すること。
② 出場チームは会場に到着次第、各会場の大会本部で参加手続きを行うこと。
③ 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮して、1日100球までとする。なお、試合中に100球に到達した場合は、その打者が打撃を完了するか攻守交代まで投球できる。
④ 試合時間は、次のとおりとする。(コールドは4回10点差、5回7点差とする。)
・試合は90分以内とし、この時間を超えて次のイニングに入らない。
・時間内で7回終了同点の場合は、タイブレーク方式(無死1・2塁継続打順)で試合を決する。
・時間を超えて同点の場合は抽選で決める。
⑤ 捕手は、プロテクター・レガーズ・ヘルメット・スロートガード付きマスク・ファールカップ(ブルペン捕手を含む)を必ず着用のこと。
⑥ 主催者は、試合中に受けた傷害に対しては一切責任を負わない。
⑦ 大会使用球は(公財)全日本軟式野球連盟公認M号球とする。
⑧ 感染症予防対策(健康管理等)はチームで実施すること

第34回県下中学生秋季選抜野球大会要項

- 1 主 催 (公財) 全日本軟式野球連盟 鹿児島県支部
2 主 管 鹿児島県中学校軟式野球専門部
3 後 援 鹿児島県軟式野球連盟少年部 (鹿児島県中学校軟式野球専門部)
4 期 日 令和8年10月31日(土)、11月1日(日)、11月2日(月)
※開会式は実施しない。
5 会 場 始良市総合運動公園野球場ほか
6 大会規則 令和8年公認野球規則、競技者必携及び本大会規則による。
7 大会使用球 (公財) 全日本軟式野球連盟公認M号球とする。
8 参加チーム 10地区代表・16チーム

No	地区名	市 郡 名	出場枠
1	鹿児島地区	鹿児島市	3
2	南薩地区	南九州市・枕崎市・南さつま市 指宿市	2
3	日置地区	日置市・いちき串木野市	1
4	川薩地区	薩摩川内市・さつま町	1
5	出水地区	出水市郡・阿久根市	1
6	始良・伊佐地区	霧島市・始良市郡・伊佐市	2
7	曾於地区	曾於市郡・志布志市	1
8	肝属地区	垂水市・鹿屋市・肝属郡	2
9	熊毛地区	西之表市・熊毛郡	1
10	大島地区	北部(大島本島・喜界)	1
		南部(徳之島・沖永良部・与論)	1

- 9 参加資格 ①令和8年度の県連登録チームで、各地区予選会で出場資格を得たチーム
②ベンチに入れる人員は、登録されたユニフォームを着用した監督30番、コーチ29番・28番および選手25名以内と、チーム代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー(有資格者)各1名とする。ただし、監督、コーチは成人者なければならない。
- 10 参加申込 期日までに支部メールアドレスから、下記E-mailアドレスに送信のこと。
鹿児島県軟式野球連盟 理事長 加世田 貢
E-mail : info@kagoshima-rubberbaseball.club
Tel 099-800-9264
申込期日 令和8年10月16日(金)
- 11 参加料 20,000円(参加申込と同時に下記、県軟式野球連盟口座に振込み)
(指定口座)
鹿児島銀行 伊敷ニュータウン出張所 普通預金 3026530
鹿児島県軟式野球連盟 理事長 加世田 貢
- 12 組合抽選 県連役員立会いの上、代理抽選を行う。 令和8年10月21日(水)
- 13 代表者会 令和8年10月30日(金)午後2時から鹿児島市立天保山中学校
- 14 その他
(1) 第2試合以降のチームは、前の試合の4回終了時までには打順表を提出し攻守の決定を行うので、監督・主将は、必ず出席すること。(ふりがな付メンバー表を5部持参する。)
(2) 試合前のシートノックは5分間とし、大会運営に支障がある場合は短縮、中止することもある。ノッカーは、生徒と同じユニフォーム・スパイクを着用する。シートノック・サイドノック時は登録選手以外の補助員3名まで認める。(1回戦はサイドノックとする。)

- (3) 試合は7回戦とし、コールドゲームは4回10点差、5回以降7点差とする。
- ・大会初日の試合時間は90分以内とし、90分を超えたら新しいイニングに入らない。
 - 90分を超えて同点の場合、タイブレーク方式（無死1・2塁、継続打順）で2イニング行い試合を決する。それでも試合が決しない場合は、最終出場選手9名による抽選で試合を決する。
 - ・2日目以降は、試合時間の制限はしないが、7回同点の場合は8回からタイブレーク方式で試合を決め、9回までに試合が決しない場合は、最終選手9名全員による抽選によって決定する。ただし、優勝戦はコールドを適用せず、延長戦に入った場合は、タイブレーク方式で勝敗が決するまで行う。
- (4) 使用する用具は、(公財)全日本軟式野球連盟公認のものを使用する。試合前に用具検査を実施する。
- (5) 打者・次打者・走者・ランナーコーチは両耳ヘルメットを使用する。捕手は捕手用のヘルメットとマスク・プロテクター・レガース・ファールカップを着用する。
- (6) リストバンド、マスコットバット、バットリング、鉄棒、滑り止めスプレー、公認球以外のボール等、試合で使用しないものの球場内への持ち込みは禁止する。
- (7) 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮して、1日100球までとする。なお、試合中に100球に到達した場合は、その打者が打撃を完了するか攻守交代まで投球できる。
- (8) タイムの回数は守備側、攻撃側とも3回以内とし、また、監督が1試合に投手の所へ行ける回数も3回以内とする。なお、延長戦（タイブレーク方式）は1イニングに1回行くことができる。※タイムの規定については、2026年競技者必携を適用する。
- (9) 規則上の疑義については、監督または当該プレーヤーに限り質問することができる。
- (10) 同一チームが続けて試合を行う場合は、最高30分間の休憩後に試合を行う。
(大会運営に支障がある場合は短縮もある。最終判断は大会本部が行う。)
- (11) 試合終了後両チームはグラウンド整備を、また最終試合後は、勝ちチームは自軍のベンチの清掃とグラウンド整備を、負けチームは自軍のベンチとスタンドの清掃を行う。
- (12) 試合中の負傷については、各学校で善処する。
- (13) 自然災害等で交通途絶状態が生じて大会に出場できない時は、そのチームは辞退したものと取り扱う。
- (14) 参加チームは、スポーツ安全協会障害保険に必ず加入していること。
- (15) 本大会は県教育委員会が許可した対外運動競技基準による学校教育活動外で学校名を使用して参加できる大会です。
※本大会の優勝校は、令和9年3月の九州中学生選抜軟式野球大会（福岡県）の出場資格を得る。
- (16) 一般的な感染症予防対策（健康管理）をチームで実施すること。